

# アジャイル型開発におけるプロジェクト管理の勘所【オンラインライブ】（4124212）

アジャイル開発を実施してみたものの、従来型のプロジェクト管理技法とは大きく異なり、上手く機能しないことがあります。この講座では、アジャイル開発ならではのプロジェクト管理の勘所を解説します。また、従来型のプロジェクト管理手法であるPMBOKの手法と比較することにより、理解を深めることができます。

開催日時	2025年1月20日（月） 9:00-16:00ライブ配信	
JUAS研修分類	プロジェクトマネジメント(アジャイルプロジェクト管理)、要件定義から運用(アジャイル型開発)	
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 <b>専門スキル</b>	
講師	熊野憲辰 氏 （株式会社リフレイン 代表取締役 元ゼリア新薬工業 情報システム部 課長） 平成元年4月 ゼリア新薬工業に入社。入社以来、現在まで情報システム部で勤務 下記の社内システムの設計～実装に携わる。 ・ 取引先EDIシステム ・ 医療用医薬品、病院納入システム ・ 医薬品 物流システム再構築 ・ BI/DWHシステム ・ 情報セキュリティ ・ 統合マスター管理システム ・ 販売管理システム再構築 平成25年9月末、ゼリア新薬を退社。現在フリーで、アジャイルコーチ、UML、データベースモデラーを職とする。	
参加費	J U A S 会 員 / I T C : 35,200円 一般 : 45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信（指定会場はありません）	
対象	アジャイル型の開発の採用を考えている企業の担当者 ◆受講前提条件：アジャイル型の開発について基礎知識(用語の意味等)がある方 <b>中級</b>	
開催形式	講義、グループ演習	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング） [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

■開催日までの課題事項

特になし

アジャイル開発を実施してみたものの、従来型のプロジェクト管理技法とは大きく異なり、上手く機能しないことがあります。この講座では、アジャイル開発ならではのプロジェクト管理の勘所を解説します。また、従来型のプロジェクト管理手法であるPMBOKの手法と比較することにより、理解を深めることができます。

■主な内容

1 アジャイル・プラクティス

・プラクティスとは何か

アジャイル方式では、プラクティスという言葉が用いられます

プラクティスとは何なのかを説明します

・アジャイル・プラクティス

アジャイル開発の各種プラクティスについて説明します

## 2 PMBOKのプロジェクト管理

プロジェクト管理を知るために、そのベースとしてPMBOKを取り上げます

- ・ スコープ
- ・ スケジュール
- ・ コスト
- ・ 品質
- ・ 資源
- ・ リスク
- ・ コミュニケーション

## 3 アジャイル開発のよくある誤解

アジャイル開発につきまとう誤解について、その内容を解説します

- ・ とりあえず作ってみる
- ・ ドキュメントを作らない
- ・ 少人数で行うから大規模システムは作れない
- ・ アジャイル方式には、適・不適がある

## 4 アジャイル開発におけるプロジェクト管理

アジャイル開発におけるプロジェクト管理について、PMBOKの主なカテゴリをベースに解説を行います

### (1)コスト・スケジュール

- ・ タイムボックスドリブン（アジャイル型）とスコープドリブン（従来型）
- ・ コストとスケジュールの見積もり
- ・ スプリント（タイムボックス）の意義
- ・ スプリントのコツ
- ・ 小口化の本質
- ・ 完了を定義する
- ・ 事前測定（FS）
- ・ ベロシティの測定

### (2)リスク

- ・ 曖昧な要件
- ・ 権利と義務
- ・ 要件の可視化技術
- ・ 人員リソースのリスク（スキル不足、人員不足）
- ・ スケジュール、コストのリスク
- ・ 予算との戦い（正攻法と搦め手）
- ・ 技術的リスク
- ・ ベンダーとの契約

### (3)資源

- ・ 開発人員
- ・ ユーザー側人員
- ・ 抵抗者の存在

### (4)コミュニケーション

- ・ 主役は誰か
- ・ 会議体
- ・ サーヴァント型リーダーシップ

### (5)スコープ

- ・ グランドデザイン
- ・ スコープ全体のモデル化

### (6)品質

- ・ 品質の定義
- ・ 品質を作り込むとは
- ・ テストは、書くもの

- ・ Continuous Integration
- ・ ツールを使いこなす
- ・ 学習の成果と習得度の関係

## 5 管理とは

- ・ 管理とは
- ・ 「官僚主義」というもの
- ・ 官僚主義の逆機能
- ・ 逆機能に陥らないアジャイル開発

## 6 実務上の疑義についての回答

- ・ 外部の支援を受ける場合の契約方法－ 4 人で〇カ月、 1 年としたような契約の場合の作業指示は
- ・ 納品時のドキュメント
- ・ 対価の定め方－ チケット枚数による契約、毎月請負契約、動いたプログラム数による契約、稼働時間数による精算
- ・ プロジェクト計画書はどのようなものか
- ・ ユーザ要件の追加等でコストが増加し、良い成果を収めることが出来ていない。その対策は
- ・ 見積方法
- ・ QCDの設定方法
- ・ 品質管理計画、テスト技法など、どうウォーターフォールからどう変えるべきなのか
- ・ 完成の定義、スプリント終了基準、リリース判定基準

## 7 演習

### (1) 演習1：ストーリーポイントの見極め

具体的なアプリケーションを素材として演習を実施します

そのアプリケーションに対して、

- ・ ストーリーの切り出し
- ・ ストーリーポイントの設定
- ・ ストーリーポイントの基準値の考え方

を演習します

### (2) 演習2：スプリントでの工夫

具体的なアプリケーションを素材として演習を実施します

そのアプリケーションは、現状のチームの実力では、2～3ヶ月程度かかりそうです

しかし、できるだけ早く、できれば1ヶ月のスプリントで引き渡してほしいという要望があります

どのような工夫が考えられるでしょうか

早期リリースに向けて、考えられる限りの省力化を考察します